

# それでも前へ!

## 前期100日、がんばりました!

先日は、短い時間で恐縮ではありましたが、学校まで足を運んでいただき、面談への御協力、誠にありがとうございました。「家庭学習カード」のコメント欄に、『子供が頑張っている様子が聞けて良かったです。ありがとうございました。』というお言葉を多くいただき、お子様の頑張りを保護者の方にお届けできたことを嬉しく思いました。

本日で、学校生活の半分が終了となりました。面談では、お子様の様子をお伝えさせていただきましたが、この学級便りではクラスの様子をお伝えさせていただきます。子供たちと100日間、生活してきて、私が、「すごいぞ、みんな!」と思うところを下に示しますね。

### 【授業面】

- 先生が45分間一度も声を出さず、全て自分たちで進め、考えた授業を1度実現したこと。
- 新しい問題を解決する時は、前に習った学習とつなげて考えることができるようになったこと。  
特に算数と理科の授業で。
- 発表が得意な子は、自分ばかり発言するのではなく、「他に言う子いない?」と周りへ、後押しの声かけをしたり、あまり発表しない子が手を挙げている姿に気付けば発言の機会をゆずったりして、みんなが授業を進める空気・雰囲気を作り出していること。また、自分の出番を考えたり、相手により伝わるように説明の仕方を工夫したりしていること。
- 発表が苦手な子も、「他に言う子いない?」や「○○ちゃん、言ってみれば?」の後押しの声かけを受けて、「言ってみよう!」と動き出していること。
- 仲間の発言に、「同じー!」の発言だけでなく、「え? どういうこと?」と聞き返したり、「でも、それだとさ…」と反論したりするなどの学びを広げる・深める発言ができること。
- 自分の考えをノートに文字や図で書き示すことが上手なこと。
- わからなかったり、困ったりしている子がいれば、助けようと動き出せること。
- テストにおける定着状況も全体的に高いこと。個人で見ても、後半に進むにつれて、得点アップした子が多いこと。  
\*できないことから逃げず、あきらめず、しっかり向き合い、できるようになろうと努力した結果。
- 

### 【生活面】

- 休み時間、どれだけにぎやかであっても、時間を気にかけていて始まる時刻になったり、ある子から「時間だよ。」と声がかかると、一気に切り替えて、メリハリをもって生活できること。
- 自分たちで問題点を見つけ、解決方法を考え、みんなで実行すること。(給食前の着替え、はみがき順番など)
- 相手との関わり方について、これまでに学んできたことを活かし、考えて生活している子が多いこと。
- グループに固執せず、「誰と関わってもいいじゃん。」「みんなで楽しいのがいいじゃん。」という思いをもって生活する子が多くなってきたこと。
- 男女で、壁をつくらず生活することができていること。
- 入学式準備、プール清掃、防災食運びなど、最上級生として学校のために働く仕事を快く受け入れて取り組むことができること。
- 失敗してしまっても、次から気をつけようと、新たに動き出せる子が多いこと。
- 

各項目に、□欄を設けました。子供に、「ぼくも私もそう思う。」という所に、レ点をつけてもらいました。いくつついでいるでしょうか? 私の発見と子供の思いがなるべく多く重なっていたらいいなあと思います。また、私が発見した以外の「すごいぞ!」を追加することができていたら、さらに素敵だなぁと思います。

前期100日間、本当に、制約・制限がある中での学校生活でしたが、この時、この場所に、運命的に集まったメンバーで、日々、少しずつかもしれませんが一步一步、確実に、自分、そして自分たちを成長させてきました。

今週の土日、100日間頑張ったお子様を、ぎゅ〜っと、たくさん抱きしめてあげていただけたらと思います。(^^)